



中川 俊富美さん

Nakagawa Toshifumi

〔井戸江区〕

なかがわ・としふみ / 緑の自然豊かな森の間を流れる緑川と、そこに架かる吊り橋の景色が大変きれいな町営井戸江峡キャンプ場の管理人。

緑川の持つ自然の魅力と野外体験の楽しさを夏の思い出に

「夏は木陰を抜けてくる緑川から吹く風が涼しく、緑に囲まれた心地良い場所です」と井戸江峡の魅力を語るのは、井戸江峡キャンプ場で管理人を務める中川俊富美さん。

同キャンプ場は、宮内地区の

井戸江の緑川左岸に位置し、そり立つ山肌と深い緑の森の間に見える大きなつり橋「藤見橋」が目印。20張のテントが設営でき、バンガロー5棟、キャビン2棟も備えて宿泊設備も充実。家族連れや若い人、会社

の同僚など、グループでの利用が多く、ロコミで来る人や何度も訪れてくれるリピーターの人もかなりいますね」と話す。

「小さいころは、ドンカッチョやドジョウ、ハエなどをとにかく釣って遊んでいました。川で育ったようなもので、とにかく水がきれいでした」と、井戸江峡で育ち、井戸江峡に暮らす中川さん。「つり橋の名前の由来のとおり、藤の花が咲くこ

ろは色鮮やかな景色になって、とてもきれいなとこやか。

そんな中川さんのキャンプ場での夏のお勧めは、「子ども連れなら、やはり、緑川での水遊び。大人ならアユ釣り。緑川を十分に満喫したところで、みんながバーベキューを楽しむのが定番だね」と楽しみがたくさん。

また、利用上の注意点として、「以前はごみを置き去る人も多かったけれど、利用者の皆さんとコミュニケーションをしっかりとすることで、ごみを持ち帰っていただくようにお願いしています。また、近くに民家があるので、音の大きな花火やきもだめしについても遠慮していただいています」とお願いする。

緑川の魅力と、野外体験の楽しさが満載の井戸江峡。「利用者の半分以上は、熊本市周辺から来る人が多い」と中川さん。

「町内の皆さんも地元の魅力を再発見して、心身ともにリフレッシュするためにも、ぜひ井戸江峡に気軽に足を運んでいただいで、豊かな自然を全身で感じてほしい」と、夏の自然の醍醐味（だいごみ）を味わえるキャンプ場に笑顔でいざなう。